

日本共産党 小平市議団ニュース

No.147 2016年11月

くらしの相談などいつでもお気軽に日本共産党の各市議まで



きせ恵美子
☎478-1133



木村まゆみ
☎344-4928



佐藤みつる
☎343-0831



ほそや 正
☎345-0818



71年の時を重ねて、原爆のつめ跡を残す広島原爆ドーム

今年、国連の場で核兵器禁止条約の交渉開始に一步踏

世界には今なお1万5000発をこえる核兵器が存在し、全人類の生存が脅かされ続けています。
日本共産党小平市議団では、広島・長崎で開催される原水爆禁止世界大会に、毎年交代で参加しています。今年、きせ恵美子市議が参加しました。そして、9月議会で「小平市の非核平和事業のさらなる発展を願って」と題する一般質問を行い、市の事業の評価と今後さらに取り組みを強めることを求めて質問しました。

非核平和の さらなる発展を

み出す重要な議論が展開されています。また5月にはアメリカのオバマ大統領が現職の大統領として初めて広島島の爆心地を訪れました。
原爆投下した国の大統領の訪問は、平和を願う人々を大きく励ましました。また、被爆者の方々は平均年齢80歳を超えています。私たちが直接体験を聞かせていただいた最後の世代です。語り継ぐことの大事さ、平和運動の世代継承の必要性を痛感しています。

ヒバクシャ国際署名 を広げよう

「後世の人々が生き地獄を体験しないように、私たちが生きていく間に何としても核兵器のない世界を実現したい」と、被爆者の方々自らが、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」(通称/ヒバクシャ国際署名)を開始されました。きせ議員は、その思いを深く受け止め共有し、署名を大いに広げようと提案しました。

小平市も取り組みを さらに一歩進めよ

小平市は昨年、非核平和都市宣言10周年に当たり、市役所前に非核平和都市宣言の常設案内板を設置し、平和首長会議から寄贈された広島市の被爆樹木アオギリの苗木を植樹しました。党市議団はこれにとどまることなく、市としても積極的に署名を広げ、多数となった戦争を知らない世代への継承にとりわけ力を入れることを強く求めます。

補正予算が可決成立

私立認可保育園 新たに7園の新設へ

9月議会は、歳入歳出ともに約9億9千万円増額の補正予算を全会一致で可決しました。

今回の補正は、昨年度の繰越金の約1億7千万円、国民健康保険特別会計繰入金の約1億円と、国からの普通交付税がマイナス約4億95万円となったことによるもので

す。そのため財政調整基金から8億8千万円を繰入し、必要とされる事業を行うものです。

党市議団は、まだ不足の認可保育園を増設し待機児解消を図ること（定員は7園全体で419名）、上宿小学童クラブ2つ目の新設に向

けた取り組みなどを評価しました。

補正予算で取り組む主な事業は表の通りです。

歳入補正

- 普通交付税 ……▲約4億95万円
- 国民健康保険特別会計繰入金…約1億円
- 前年度繰越金 ……約1億7339万円
- 財政調整基金繰入金…約8億8000万円

歳出補正

- 私立認可保育園7園の建築補助（新規4園、決定済み3園への増額） ……約5億6494万円
- 上宿小学童クラブ2つ目新設設計委託費 ……約495万円
- 介護ロボット導入支援補助 ……約355万円
- B型肝炎定期予防接種と骨髄移植ドナー助成…約3333万円
- 公共施設の照明器具をLED化 ……約520万円
- 花小金井小学校拡張用地購入 ……約3258万円



多子世帯、ひとり親世帯の 保育料がさらに軽減

6月議会で条例改正

小平市は、多子世帯、ひとり親世帯の保育料を2016年4月にさか

のぼつて軽減策の拡充がされています。保育料が重くのしかかる子育て

満相当の多子世帯とひとり親世帯等

家庭に朗報です。

子ども・子育て支援法施行令が改正されたことに伴い、市の関連する3つの条例（小平市立保育園等の利用者負担額に関する条例、小平市特定保育所の保育料に関する条例、小平市保育措置費徴収条例）の一部改正を6月議会で行ったものです。

改正の内容は、年収約360万未満相当の多子世帯とひとり親世帯等については、子どもの年齢の上限を撤廃し、何歳であっても上の子どもから1人目と数え、ひとり親世帯等の場合には1人目が現行の半額、2人目以降は無償として、保育料の軽減措置を拡大したものです。現在、小平では約80世帯の家庭が対象になり、それぞれへ通知されています。

党市議団は、さらに所得制限が撤廃されるよう求めていきます。

南スーダンに 自衛隊送るな

「野党は共闘！市民の声にこたえて小平市では…」

安倍自民・公明政権により戦争法＝安保法制が強行採決された「19日」には、毎月、小平市議会議員有志12名で、戦争法廃止に向けた超党派の宣伝を行っています。この行動は、新潟県知事選挙を勝利させた「野党は共闘」の全国



「野党共闘」…日本共産党、民進党、社民党、緑の党、生活者ネットの旗が林立する中、一人ずつマイクを握って訴えました（1月・小平駅南口）

の声にこたえたものです。11月に、青森の駐屯地から新任務遂行の自衛隊が南スーダンに派兵されるとの報道。南スーダンは死者も多数出ているまさに戦闘地域。超党派市議有志は、10月19日にも小平駅で、渾身の力を込めて戦争法廃止を訴えました。

小平のまちなぎのシステムが「変更前進」!

小平市開発事業における手続きおよび基準等に関する条例が6月議会で全部改正

開発や建築工事の度に、建設事業者と住民との間でトラブルが発生しているのが最近の小平の残念な現状です。

これを何とか解決したいと、党市議団は長年、条例の改正を求めてきました。それがようやく議決されました。主な改正点は左下のとおりです。

これで紛争が全くなくなるかというところはいきませんが、少なくとも、事業者によるいわゆる「脱法行為」というべき、土地を分割しての建設や、五〇〇〇㎡以下だからと届け出も住民

説明会の開催も免除されるということには歯止めがかかりました。

さらに紛争に至ってしまった際に周辺住民の皆さんから「我々と事業者の間に小平市が入って仲裁してほしい」という強い要望が出されていましたが、紛争を未然に防ぐ一つの方策として、「調整会」の開催が規定されたことも大きな前進です。

二〇一七年一月一日から施行されます。



住民の皆さんの頑張りで5m幅の道路を確保した津田菜園跡の住宅地。条例改正の大きな力に

主な改正点は

- ①敷地を8区画以上に分割する事業も新たな開発事業の対象に加えるなど開発事業の対象範囲を広げた。
- ②事業面積3000㎡以上、50戸以上の中規模開発事業を追加。
- ③大規模開発も中規模開発も、事業者・住民・小平市の三者による「調整会」の開催を規定。

北朝鮮の核実験に抗議

北朝鮮は9月9日に5度目の核実験を強行。市議会は宮寺賢一議長名で「朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議する声明」を発表し、小林正則市長も「すべての核兵器と核計画を即刻放棄するよう強く求める」の抗議文を発表しました。

日本共産党は、北朝鮮の核・ミサイル開発の放棄を求めた累次の国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙をきびしく糾弾しました。そして核・ミサイル開発を放棄させるため、北朝鮮を6カ国協議の対話のテーブルにつかせることが急務だと考えます。

9月議会

政府に対する意見書を可決

●「返済不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書」提出について

●「返済不要の給付型奨学金を」の学生や市民の願いに応え、憲法が保障する教育の機会均等実現の一步となる意見書が、会派「むさし」を除く賛成多数で可決されました。

また、次の2件の意見書も全会一致で可決されました。

- 「原発事故避難者への支援の継続を求める意見書」提出について
- 「電力小売の全面自由化に伴い電源構成の情報開示の義務化を求める

●「米軍人・軍属等への綱紀粛正及び事故、犯罪の防止に向けた実効ある施策を講ずることを求める意見書」提出について（議員提出議案）

継続審査となつてゐるもの

●「パナマ文書の徹底調査等を求める意見書」提出について（議員提出議案）

●「米軍人・軍属等への綱紀粛正及び事故、犯罪の防止に向けた実効ある施策を講ずることを求める意見書」提出について（議員提出議案）

●「次期介護保険制度改正においての要介護1、2の生活援助等を外さないことを求める意見書」提出について（議員提出議案）

●「小平市における男女共同参画の施策を具体的に進めること」について（請願）

9月議会 一般質問より

佐藤みづる市議



①地域振興、産業活性化のため、住宅リフォーム助成制度、公契約条例の制定を
 ②大沼町一部地域の黒い汚れの対策を
 ③青少年ダンスイベント等をコミュニティづくり

耐震改修補助、店舗リフォーム助成など）行なっており、現在一般住宅は考えられていないが、国の住宅リフォーム助成制度や他市の状況を踏まえ研究する。
 ②大沼町一部地域の黒い汚れの対策を
 大沼町2丁目の東久留米市境の「花の小径」を中心とした一帯のガードレール民家の壁などが黒く汚れています。住民のみなさんとともに調査し、市に結果報告と調査・対策の依頼をしましたが、改めて、原因、成分調査、清掃について一般質問しました。
 市は、原因の究明はしていくと約束。成分調査は今後の経緯を見ていきたい、清掃は検討すると答弁しました。※その後、ガードレールはきれいになりました。

①特別養護老人ホーム等整備と年金について
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を



ほろやま市議

①特別養護老人ホーム等整備と年金について
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を

また、市が特養を希望している鈴木町一丁目地区はどこまで進んでいるか。
 ②市の農業の発展と継承について
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を

①特別養護老人ホーム等整備と年金について
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を

きせ恵美子市議



①小平市の非核平和事業のさらなる発展を願って
 ②市は磁気ループの貸出しシステムを積極的にお知らせし、聞こえのバリアフリーを広めてください
 ③青少年ダンスイベント等をコミュニティづくり

①特別養護老人ホーム等整備と年金について
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を

①特別養護老人ホーム等整備と年金について
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を

木村まゆみ市議



①教員は、子どもたちに向き合う時間を十分確保できているか
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を

①特別養護老人ホーム等整備と年金について
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を

①特別養護老人ホーム等整備と年金について
 ②就学援助などの支給は、必要な児童生徒に必要な時期に実施を
 ③安心して老後を暮らせる介護保障を